



芸北教育

広島県立加計高等学校
芸北分校

280号

平成 30 年
～5月～



快晴に恵まれた4月20日(金)新入生歓迎「登山遠足」を実施しました。標高1096mの「大佐山」山頂めざし、いざ出発。全校生徒が一丸となり約90分かけ見事全員で山頂からの「絶景」を堪能することができました。昼食後は、広々としたゲレンデを利用した生徒交流会で親睦を深めるなど新入生は「芸分魂」を体感しました。



5月2日(水)恒例の中高合同新入生歓迎行事を開催しました。雨天のため屋内で、ソフトバレーボール大会を実施しました。最初は緊張していた中学生も高校生のリーダーシップによって、時間の経過とともに雰囲気にも慣れ、会場は、笑顔と歓声に溢れました。

中高合同新入生歓迎行事

全国から入学できます！
女子下宿、男子寮完備。町より月一万円
の補助制度あり。見学随時可能。
(電話)〇八二六・三五・〇七二六

総体地区予選報告!



ソフトテニス部 9年連続県総体出場!

4月28日(土)29日(日)広島翔洋テニスコートで広島地区予選会が行われました。

個人戦で、河野③、白③ペアが6月2～3日に開催される広島県総合体育大会への出場権を獲得しました。



女子バレー部

4月28日(土)井口高校



男子卓球部

4月21日(土)22日(日)安佐北区スポーツセンターで行われた広島県高校卓球選手権広島地区大会で、男子舛見・有吉ペア、女子古田・麦尾ペアが、予選を勝ち上がり県大会への出場権を獲得しました。



で県総体地区予選が行われました。4チームリーグで健闘むなしく2位となりました。
対安芸府中 2 - 0 で勝利
対国泰寺 2 - 1 で勝利
対井口 0 - 2 で敗戦

強豪校との対戦で連勝し、井口高校と県大会出場を賭けて対戦しました。あと一步のところでも惜しくも敗れ、予選突破は果たせませんでした。3年生上端さん、武田さん、河本さん中心にチームが一丸となり、見事な戦いぶり、強豪校相手に2勝を挙げ、芸北分校バレー部に新たな伝統を築いてくれました。



陸上競技部

5月6日(土)・7日(日)
8日(月)に行われた県総

体地区予選で次の成績を収めました。また3年生の折本明音さんがやり投げにおいて、3年連続で県大会出場権を獲得しました。



【男子】

山本 誠 ③

100 m 12秒 52

植田裕朗 ③

400 m 56秒 75

稲田勇大 ②

1500 m 5分 14秒 93

岡本明樹 ③

1500 m 5分 54秒 57

三浦龍斗 ③

5000 m (予選敗退)

【女子】

宮本千尋 ②

やり投げ 38 m 50

折本明音 ③

1500 m 6分 22秒 75

(県大会出場)

「キャリア朝礼」スタート

4月24日(火)生徒会が企画し、主体的に運営する「キャリア朝礼」がスタートしました。第1回は町地域おこし協力隊の山口実咲様から「挑戦すること」「広い視野を持つこと」の大切さなど、体験談を交えながら伝えていただきました。身近で輝いている人の話を聞いて大きな刺激を受



けました。ありがとうございます
ました。(中国新聞 4 月 25 日
に紹介されました)

「先輩」の経験生かそう

加計高芸北分校 月1回講師招く



北広島町の加計高芸北分校(98人)は24日、職を道路や職業選択に悩むゆかりの人から任生かそうと、生徒会がや高校時代の話を聞く「キャリア朝礼」を初めて企画した。初回は町地域おこし協力隊の山口実咲さん(25)が、千歳原でのが、千歳原での高校生活や、食・伝統芸能などを発信する協力隊の活動を紹介した。「完璧にできなくて、まずは挑戦し、視野を広げることが大切」と呼び掛けた。

生徒会は町内や近隣の主に20〜40代を講師に招く。原則、毎週火曜にある全校朝礼のうち月1回程度を「キャリア朝礼」とし、本年度計10回を予定する。

生徒会長の3年河野小夏さん(17)は「近い世代の人から話を聞くことは将来を考える機会になる。農林業など地域資源を生かした仕事や、芸北の印象も聞きたい」と話していた。(山田太一)

PTA新役員の御紹介

5月2日(水) PTA総会
を行い、今年度の役員が決ま

りました。芸北分校教育への御協力お願いします。
平成30年度役員は次のとおりです。

会 長	宮地 弥樹	地区委員	八 幡	河野 弥生
副会長	松尾 良平		雄鹿原	麦尾 早苗
監 査	白 和子		中 野	山田 歩
	尼子 奈美		美 和	上前 美晴
書 記	上迫 直美		上記以外	小川 静香
会 計	角一 公洋			竹内 円香
特別顧問	沖川 宏和	1 年		杉本 明美
	小田 浩	2 年	水野 雅美	
		3 年	舛見 靖稔	

中高合同体育祭のお知らせ

5月19日(土) 芸北分校
グラウンドで開催します。皆

様どうぞ御来場ください。
(雨天の場合は5月20日に順延)

〈巻末エッセイ「げいほくらし」〉
「大佐山」登頂

1096メートルの頂から「芸北の町」を見下ろした。いつか登ってみたいとは思っていたが、一人で実行する勇気もなく2年が過ぎていた。登山遠足の企画が提案され、当日は先頭を歩く予定となっていたが、所用により1時間遅れで一人、追いかけることに・・・。

最初のゲレンデを意気揚々と登り始めるが、間もなく下半身が鉛のように重くなる。思いもかけない息苦しきにも襲われる。この先どれだけ続くのか見当もつかない道のりに不安がよぎる。いったん緩やかな斜面となりなんとか回復した。運動不足を嘆きながら、しだいに体が慣れるだろうと自分に言い聞かせながら歩み続ける。再び登り始めると、つらさが増すばかり。話し相手もない。迷ったふりして引き返すなら、今しかない。リタイアする生徒がいたら一緒に下山しよう。と「悪魔のささやき」が頭をよぎる。

最後は、低血糖でフラフラになりながら、なんとかゴール。結局、全校生徒が一人も脱落することなく山頂へ。唯一のリタイアとならなかつたことに、安堵しながら心地よい風と絶景を堪能した。「げいほくらし」の思い出がまた一つ刻まれた。

(のポール小僧)